

収納型レインポンチョの提案

上智大学 岸 昌平

上智大学院 宮崎 幹太郎 中間 翔 鈴木 礼

緒言：日々の生活の中で、雨の日に自転車の方が傘を差しながら運転している光景をよく見かける(図1参照)。本来なら傘差し運転は道路交通法違反であるが、多くの方が行っているのが現状である。なぜこれほどまでに傘が使用されているのか。それは、雨天時に自転車をする人のための適切な雨具であるカッパやポンチョの使いにくさにあるのではないだろうか。そこで、手を使わず利用しやすい雨具を提案する。



図1 傘差し運転の様子

収納型レインポンチョ：私たちの目的は雨天時に傘ではない別の選択肢としての雨具を提案することである。まず、手を使わずに使用できる雨具としてカッパやポンチョが挙げられる。しかし、現状のカッパやポンチョの問題点として、収納時に濡れてしまう、かさばってしまう、デザイン性が悪い、などが考えられる。そこで、収納時に濡れずに収納が容易であることに重点を置くこととし、図2のような収納型レインポンチョを提案する。図2aの中央の穴から首を出し着用し、ポンチョ中央と繋がっている4本の紐を引っ張ることで簡単に収納出来るようになっている。図2bはポンチョを実際に着用している様子である。また、リュックにポンチョを収納している様子を図3に示す。ポンチョから出ている紐を引っ張ることでポンチョを縮ませリュックに収納し、紐はリュック側面のフックに巻き付ける。なお、このポンチョを提案するにあたって、「安全に両手をふさがらずに雨から身を守る」という点から考えを広げ、図4のような思考展開図を用いて考えた。

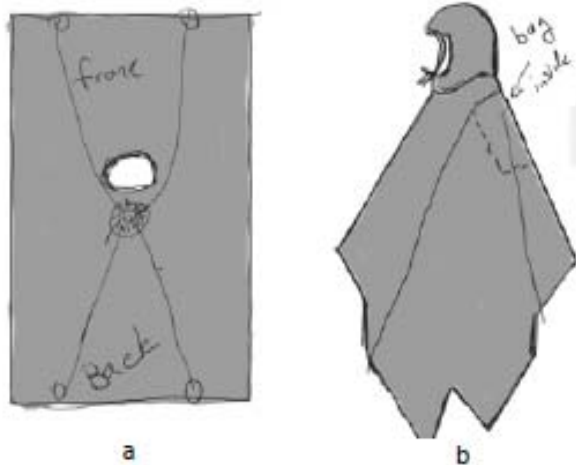


図2 収納型レインポンチョ



図3 収納過程



図4 思考展開図

結言：新しい雨具を考案するのではなく、ポンチョとカバンを組み合わせ、紐を用いた機構を考えることで現状の問題点を比較的簡単に解決することが出来た。しかし、実際に紐によって収納した際にどのくらい纏まるかが気になる点である。実用性に関しては、実際に作成してみなければわからない部分も多いと考えられるが、実現すれば傘以外の雨具の選択肢として現状よりも使われるのではないかと考えられる。